

おわりに

われわれは地域のつながり、あるいは地域住民の関係形成に関して、またそこから派生する地域活性化を論じた。

その地域活性化が現代の日本の教育過程にも大きく関与していくことや、サークル活動と見学活動を通して地方自治の存在は不可欠であることを確認できた。各地方自治体が、（国から付与された）自治権を行使し独自の行政を運営できる可能性をも確認できた。当たり前なことではあるが社会生活を営むうえで地方自治は欠かすことができない重要な行為者（アクター）であることを認識できた。

これは今後、われわれが社会を運営していく立場になるうえで重要な認識であったと同時に、地方自治体を有効に活用できることを指し示しているのではないかと考える。